訪問看護リハビリ
はるかぜ豊田

風歳時記

2020年
水無月号

・退院即新規ケース開始に備える「看護師同行訪問」
・数字で知るはるかぜ「5月度緊急対応件数等」
・パーキンソン連載2回「病態について」
・症例報告「家族介護力が高く無い場合での褥瘡対応」

豊田市土橋町4-75 BULS12-D号
TEL:0565-41-8777 FAX:0565-41-8778
www.yukikaze55.co.jp/harukaze/kango/
令和2年6月15日発行　通巻第８号

多職種連携を考える 1回　退院→即新規ケーススタートに備える「看護師同行訪問」を

オススメしたい「退院前アセスメント」看護師同行

ケアマネージャーさんが訪問看護導入に動くタイミングは、主に２つのケースでは無いでしょうか？

（１）担当利用者さんのアセスメント中に医療ニーズを把握し、訪問看護導入を検討するケース
（２）退院支援時に病院から訪問看護導入を打診されるケース

（１）のケースではご自身のアセスメントで訪問看護のニーズを掴まれた訳ですから、「どこに依頼するか？」と言う点で、担当ケースのニーズに合わせてお付き合いのある訪問看護から得意分野で選んでいかれる事と思います。少し難易度が上がるのは特に（２）のケース。ある日突然病院のMSWや退院支援担当看護師、包括支援センターから医療依存度の高い新規ケースの打診が舞い込みます。

介護保険情報・家族構成・認知症等・病状等の大まかな情報収集をされ、ご家族との連絡調整や退院カンファレンスへの準備へと進まれる事でしょう。特に

「がん末期」　「神経難病」　「人工呼吸器」
「在宅酸素」　「バルンカテーテル」

等のケースでは、より慎重な支援が必要となります。国の政策による昨今の在院日数の短縮の流れの中で、慌ただしく退院が決まるケースも避けられなくなっています。そんな中、

・医療ニーズの高い利用者さんの在宅療養に何が必要か？
・介護力や環境等を踏まえた上での具体的な医療支援の中身は？
・今後の状態変化について、どのような推移がイメージされるか？

はるかぜの看護師が利用者さん宅への訪問に同行し、ケアマネさんのアセスメントのご支援をさせていただきます。訪問看護導入につながらないケースでも大丈夫です。もちろん料金は不要です。

疾病の特性やご本人の身体状況など、看護の視点から多職種でのアセスメントに参加させていただき、少しでも安心して日々の生活がイメージできるようアドバイスさせていただきます。もちろん訪問看護導入となった場合の介入プランも、単位を睨みながら即座にご提案もさせていただきます。

地域のケアマネージャーさんとご一緒にチームアセスメントに取り組んでいきたいと考えております。

数字で知るはるかぜ

令和2年5月度

緊急電話受電	緊急訪問実施	新規受け入れ
28回	**10回**	**12件**

＊「緊急」08:45-17:45以外の営業時間外や夜間休日の予定外対応

”無い時はほとんど無いのに、重なる時は何故か重なる“　どの世界でも起こる「あるある」ですが、訪問看護とて例外ではありません。5月は特に容体の急変が想定される新規ご利用者さんの緊急かつ迅速な受け入れ対応が大変多い月となりました。この為過去最も頻回の緊急出動となり、４件の在宅でのお看取りとなっています。

「いつもお世話になっています」

プチ職員紹介 主任看護師　伊藤

仕事をしていて嬉しい事：たくさんありますが、訪問を心待ちにしてくれている事や、「出逢えて本当によかった」とのお言葉をいただける事です！
余暇の過ごし方：お買い物、おいしい食事･お酒を楽しむこと、映画鑑賞、読書
豊田市内おすすめの店：みんな大好き焼肉編！"千久左"さんです！お肉もとってもおいしいですが、スタッフの皆さまもとても素敵で温かく豊田市でNo.1の焼肉屋さんです！よく金曜日に出没します笑

「看護師さんの訪問バッグの中見せてください！」

スタッフ一人1台iPad。開業以来奇跡的にガラス破損も無く大事に使ってます！

開業当初からスタッフ１人に１台支給されみんなで愛用中。ご利用者様宅への緊急訪問の際も、ステーションに立ち寄る事なく自宅から訪問先へ急行です。

WEBベースの訪問看護システムにアクセスして、利用者さんの情報を参照し、当日の健康状態やケアの内容、申し送り事項などを入力、入力された情報は、同じ利用者さんをケアする別のスタッフにも共有。このように情報を一元化する事で、どのスタッフが利用者さんの元に行っても均質の対応ができます。緊急対応の当番に備えて、緊急対応看護師5名が常に担当外の利用者さんの情報にも目を通しています。

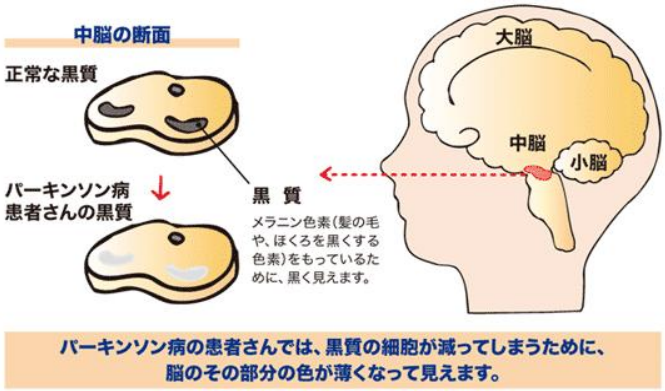
「写真の共有」がしやすい事もメリットです。患部の写真だったり、時には少しわかりにくいご利用者さん宅の駐車場の駐車位置だったり。最近のコロナ禍環境では、訪問途中の駐車場で緊急Zoom会議をしたり、グループウェアにアクセスして情報共有を図ったり。リモートワークを強いられる環境下で今や必需品で大活躍。もう紙には戻れない・・・・。

ブログ更新中→　http://yukikaze55.co.jp/category/blog-houmon

パーキンソン病について知ろう「～病態～」

（連載第２回）

パーキンソン病について研修からの第２弾です。
パーキンソン病の方は１００万人あたり１００～１５０人が発症すると言われており、現在日本には１５万人の方がパーキンソン病と診断されています。豊田市でもパーキンソン病による特定医療費受給者数は２８０人と難病の中でも２番目に多い疾患となっています。では、パーキンソン病とはどのような病気なのでしょう。
メカニズムとしては脳幹を中心にタンパク質が蓄積され、それが「レビー小体」という構造物に変化し、黒質の神経細胞が減ってしまうことが原因とされています。



黒質では、私たちが体を動かそうとする時の燃料となるドパミンが作られています。

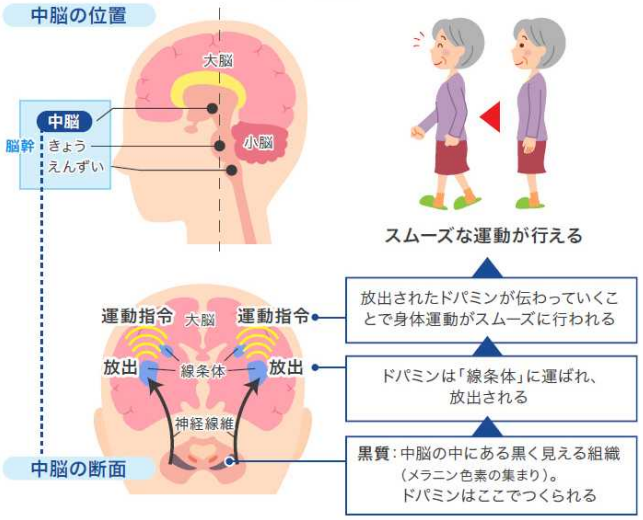
パーキンソン病になると、このドパミンが減少し、ブレーキが強くなり、動かす力と止める力のバランスが崩れ、身体の動きが制御できなくなってしまうのです。

なのでドパミンを補う治療が必要になるのです。
ちなみにレビー小体が脳幹にみられるとパーキンソン病、レビー小体が脳全体にまで広がるとレビー小体型認知症となります。

パーキンソン病の病態についていかがでしたでしょうか。

次回：パーキンソン病について知ろう!! 連載3回 ～運動症状と非運動症状～

（レポート：所長 林）



告知

出前・出張講座承ります

地域包括支援センターや介護施設、老人会など介護予防教室の講師として出張いたします。現在鋭意準備中で、来月のニュースレターにて講座のパッケージプランをご案内いたします。今年度は ”地域の「食」を支える” をテーマに、言語聴覚士の佐藤を中心に、右の様なアイディアで現在プランを練っています。

講座プランの一例

- 「クイズと実践で学ぶ『のどの老化と誤嚥性肺炎』」
- 「最近ムセる…」正しい対処法と間違った対処法
- 「食べられるうちから習慣化」嚥下しやすい正しい姿勢

最新空き状況毎週更新中→　http://yukikaze55.co.jp/news

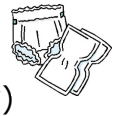
症例報告

家族介護力が高く無い場合での褥瘡対応

ご家族の負担軽減を重視しつつ、多職種で在宅での褥瘡対応に取り組んだケース

年齢：94歳　　要介護５　るい瘻・仙骨部褥瘡
褥瘡と熱発、仙骨部に10X10cm、ポケット1cmのⅣ度褥瘡
ご家族からの相談で緊急介入。介護者は日中仕事しながら義母の介護。
介護に関する知識も十分でない中、オムツ交換や食事介助に関するご家族の相談に乗りながら褥瘡処置をメインで介入開始。併せて看取りに関するご相談にも対応。

①ご家族と共に



- 負担軽減の為のオムツの選定（尿取りパッドのサイズ）
- オムツ交換の方法を指導（当て方）
- 負担の少ないケア方法を一緒に考える
- 食事を毎食作って介助してくれているが、品数を作るの大変であれば、無理せず栄養補助食品に頼る方法もあることを提案
- 褥瘡の治癒には時間を要す為、負担が少なく長く続けられるケア方法を検討

②栄養状態を考える

- 経口摂取はできていたが食事量としては少なく、栄養補助食品の提案
- 高蛋白の食品の紹介
- 食事・飲水の際の姿勢について指導

↓

- 経口摂取量の増加
- 栄養状態の改善

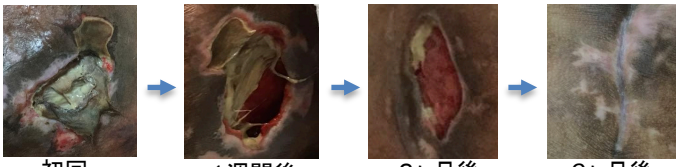
③訪問時のケア

- 便失禁による皮膚トラブル予防の為、摘便による排便コントロール
- 拘縮もあり良肢位保持できるよう、処置と並行し看護師でリハビリ施行
- 症状に合わせた与薬で全身状態安定を図る
- 状態に即した処置方法の検討と実施
- 処置物品はコストを考え、自宅にあるもので代用
- 全身状態変化時の早急な医師との連携

④多職種と共に

- 医師と褥瘡の状態を小まめに共有
- 訪問入浴とのケア方法の共有と統一
- 福祉用具と適切なエアマット選択
- 定期的にオムツ交換ができるようにCMと介入時間の検討

こんなに良くなりました



初回 → 1週間後 → 2ヶ月後 → 6ヶ月後

介入時は褥瘡治癒を目標に全身状態、栄養状態、介護能力や金銭面を踏まえ、毎日訪問。
褥瘡が治癒した今、新たな褥瘡を発生させないを目標に、
①予防の観点からいかに誤嚥なく経口摂取で栄養状態を保持できるか、ST（言語聴覚士）の介入を開始。
②看護師の訪問回数を減らし、全身状態の管理、皮膚トラブルの有無、拘縮予防でのリハビリで介入継続中。
現在は・・
新たな褥瘡発生や誤嚥を起こすことなく経過。ST介入により会話も明瞭になっている。

はるかぜ豊田では看護師、PT・OT・STの４職種であらゆるプランをご提案できます。

（レポート：主任 伊藤）

ニュースレターバックナンバー
http://yukikaze55.co.jp/category/blog-houmon/newsletter